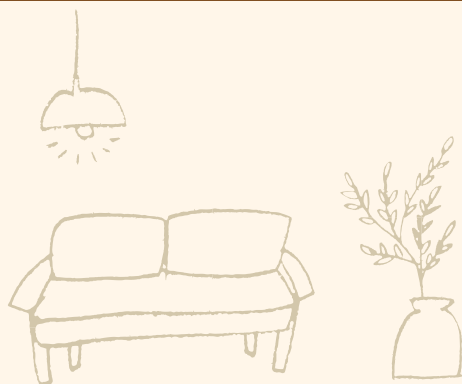


普通の生活を、いつもの日常を、
居心地の良い場所を提供する。
それがグループホームの介護です。



■グループホームとは、同じ地域に住んでいる認知症の高齢者が、専門スタッフの援助を受けつつ共同生活する介護施設です。家庭的な雰囲気の中で、日常生活の見守りから精神的なケアまでスタッフが支えます。少人数でアットホームな介護が特徴です。

グループホームの特徴(1)

手伝わないって、どういうこと？



過剰な介助はご利用者の自立をさまたげ、身体機能を衰えさせてしまいます。グループホームは全てをお手伝いする介護ではありません。ご自身でできる事はしていただき、それをスタッフがお手伝いするようなイメージです。

グループホームの特徴(2)

こんな近くに「季節」がある



散歩で四季を感じたり、ちょっと足を伸ばして旅行気分を味わってもらったり…生活の中での楽しみを感じてもらい、ご利用者の生きる意欲を創出するため介護の提供場所は施設の中だけに留まりません。「どんな場所に行きたいか、思い出の場所はどこだったか」などご利用者の想いを知り、ケアに生かしていきます。

グループホームの特徴(3)

「会話」は大切な仕事のひとつ



ご利用者とスタッフ、ただ話をしているだけのよう
に思われるかもしれませんが、理由があります。ご
利用者の気分を落ち着かせたり、興味を聞いて次
のケアに活かすため会話をしているのです。他の
利用者と一緒に土いじりなどの共同作業をするの
も、脳を活性化させ、認知症の進行を遅らせるた
め。一つひとつの行動に意味があります。

グループホームの特徴(4)

社会とのつながりが、心の支えに



グループホームの役割は、ご利用者の生き甲斐や社会との関わりを作っていく事かもしれません。ご利用者が今まで培った経験を生かしてホームに入所後も地域の為、社会の為の活動に参加されています。みなさまイキキと楽しんでおられます！

グループホームの特徴(5)

次はどっちの足だっけ？



長くホームで生活ができるように、転倒防止の為に運動機能の維持向上や認知症の進行予防の為に専門的な取り組みを行います。ホームに入ってから要介護が改善した方も多くいらっしゃいます。